

令和3年度 アクション委員会 事業計画

1 活動のねらい

- (1) 会員一人一人がアクションを起こすことで、自らの視野を広げ、地域貢献活動を通して得た人的・知的財産を各学校の教育活動に還元する。
- (2) 会員一人一人が郡市内の様々な活動に参画し、活性化に寄与することで、地域と会員及び会員相互の結び付きの強化を図る。

2 活動の方針

- 会員一人一人が勤務校郡市のアクション事業に取り組むことを原則とする。ただし、会員自らの希望によるものとする。
- 東蒲原郡と五泉市、両地域のアクション事業計画に基づき活動を推進する。
- 両地域のアクション事業計画・活動内容等について、全会員に周知する。

【会員の意識改革】

教育研修団体の「ときわ会」が、唯一、地域との接点をもつことができる活動であるがゆえに、会員の気持ちや思い、モチベーションをもとに行うことが前提である。

会員が“やらされ感”から行うから活動でなく、“やる気”をもち行う活動にするために、活動を行う会員にもメリットがある仕掛けとする。目指すは、真の「共生的な活動」である。会員にも、地域にもプラス効果がある活動を展開するための仕掛けや、その効果を可視化していく。

3 活動内容

(1) コロナが終息し、地域のイベント等が開催し、施設が受け入れ可能である場合

東蒲地域アクション事業 活動内容	五泉地域アクション事業 活動内容
<p>・以下の4つの活動に1つ以上取り組む。</p> <p>(1) わくわく科学教室 (理セン) 8月4日(水) (2) 阿賀野川レガッタ大会 9月5日(日) (3) 阿賀町駅伝・マラソン大会 10月10日(日) (4) 里の秋コンサート 11月21日(日)</p> <p>活動の際には「ときわ会」のジャケットを着用して、地域貢献活動をしていることをアピールしていく。</p>	<p>地域貢献活動Ⅰ (施設訪問ボランティア)</p> <p>1 G : すもとの里 (五泉小・巢本小) 2 G : デイケアひまわり (五泉中・五泉南小・五泉東小) 3 G : うずらはし (五泉北中・橋田小・五泉特別支援) 4 G : すがなの里 (川東中・川東小) 5 G : 桜花寮 (村松桜中・村松小・愛宕小・大蒲原小)</p> <p>地域貢献活動Ⅱ (事業補助指導・事業補助活動)</p> <p>・以下の3つの活動に1つ以上取り組む。</p> <p>(1) 夏休み子ども講座・わくわく科学教室 7月29日(木) (2) トゲソの会の事業協力 (3) ごせん紅葉マラソン</p>

(2) コロナが終息せず、地域のイベント等が開催されず、施設が受け入れ不可能である場合

昨年度と同様、アクション委員（いない場合は学校代表）を中心として、学校単位で独自に企画する地域貢献活動に賛同する会員が参加して行う。

各校に、活動費用として3,000円程度助成する。

☆ (1) または (2) で進めるかは、5月末を目途にアクション委員長と副委員長で判断し、支部長の同意を得たうえで、委員や会員に今年度の活動内容として知らせる。

4 アクション推進委員の活動予定

東蒲地域アクション事業 推進委員	五泉地域アクション事業 推進委員
(1) 活動計画立案及び役割分担の確認 6月 (2) 会員の参加希望を取り、集約する 7月 (3) 活動終了後、担当推進委員は「活動報告書」を事務局へ送付 (4) 活動の反省と次年度の活動計画の検討 2月	(1) 活動計画立案及び役割分担の確認 6月 (2) 地域貢献活動Ⅰ・Ⅱの具体的な日程が決定し次第、「参加報告用紙」を配布 (3) 活動終了後、担当推進委員は「活動報告書」を事務局へ送付 (4) 活動の反省と次年度の活動計画の検討

5 評価

- 「活動報告書」を集約し、成果と課題を検討する。
- 今年度の反省と次年度の取組構想を協議する。

6 その他

- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を鑑み、3(1)案、または(2)案での実施の判断を行う。(5月末を目途に)
- 阿賀町は(1)案、五泉市は(2)案で実施することもありうる。

【参考】

<令和2年度の取組の紹介>

五泉小学校・・・地域の福祉施設の職員や利用者にメッセージを送ったり、地域の商店や施設と連携し体験活動を行ったりした。

川東小学校・・・地域の福祉施設「すながの里」の窓ふきを行った。コロナ禍でもあり環境整備にかかる人手不足を補った。

また、施設の入居者や職員とは接しなくても活動できた。

阿賀津川中学校・・・総合学習で行っている「エゴマ栽培」の除草作業を保護者と行った。

他に、PTA主催の「おとな未来フォーラム」に参加し、保護者や地域の方と一体となった活動を展開できた。